

山行報告書

報告書作成

2009年4月18日

山名 [山域]	白馬乗鞍岳・雪倉岳 [北アルプス]	目的と方法	山スキーツアー・登頂・展望
登山期間	2009年04月04日(日)～06日(月)	山行形態	前夜発2泊3日
参加人数	7人		

[4/03(金) 晴れ]

岡崎市民病院P発(2035) === 岡崎IC(2040) === 豊科IC(0010) === 梅池高原スキー場P(0130)TS1

[4/04(土)、曇り時々晴れ一時雪白馬乗鞍岳]

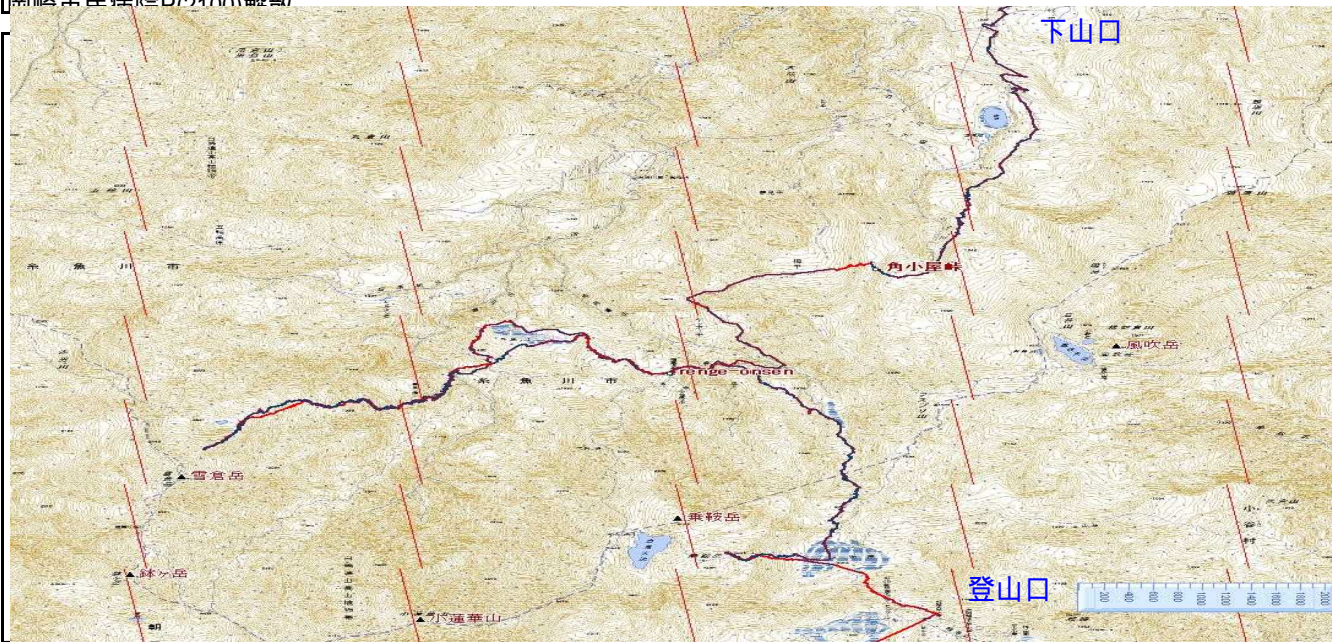
起床(600) == 木地屋集落に配車(730) == スキー場P(830)+++ 梅池自然園(915,925) --- スキー天狗原乗越(1030) --- 白馬乗鞍(1155,1205) --- 振り沢 --- 蓮華温泉着(1450)TS2

[4/05(日)、晴れ、雪倉岳2611M]

起床(515)・朝食(600,630) --- 兵馬の平(735) --- スノーブリッジ(905,920) --- 1800M尾根(1050,1110) --- 2470M地点(1330) --- スノーブリッジ(1535) --- TS2(1750)

[4/06(月)、快晴、木地屋集落]

起床(600)・朝食(630,815) --- 角小屋峠(1050,1115) --- わさび沢(1200) 負傷者発生、救助ヘリ(1405,1425) --- 木地屋集落P(1550) === 梅池スキー場P(1635,1650) === 豊科IC(1815) === 中津川IC(1935) === 恵那SA(1945,2000) === 岡崎IC(2050) === 岡崎市民病院P(2100)解散



日誌

岡崎市民病院P 20:35発、深夜割引を利用して約5時間で梅池高原スキー場Pに到着、テント及び車で仮眠。

木地屋に1台配車し梅池スキー場へ、ゴンドラ、ロープウェイで上の駅まで行きツアー開始、順調に天狗原への急登をこなし白馬乗鞍頂上へ。天候が思わしくないため、振り沢から蓮華温泉ロッジへ下ることとなる。

スノーボードのYさんは悪戦苦闘しながら、無事蓮華温泉に予定時間に到着。今晚の宿泊数は90名？

朝食を済せ、6:30発地図、コンパスをたよりに兵馬ノ平、瀬戸川のスノーブリッジ到着時には予定より30分遅れ。これからは本格的な急登が始まり1800M(10:50)の大展望の尾根地点で休憩、2400M地点付近よりは、急峻なためスキー板を外しスキー靴にアイゼンを装着しての登山となる。残念ながら、2470M地点(13:30)で時間切れで頂上を断念し下山開始する。帰りはトレースを確認しながらスノーブリッジに到着、帰りルートは夏道をたよりに蓮華温泉ロッジに無事17:50着。ハードな1日を体験した充実感がある。

朝食、露天風呂入浴後、8:15発林道を歩き、角小屋峠にて休憩、快晴の天候で雄大な雪倉岳を展望する。下山途中でスキー転倒時(12:00)Nさんが左膝負傷、テーピング、副木をするが歩行が困難である。

丁度蓮華温泉ロッジ経営の息子さんが下山中で、救助ヘリの要請をお願いします。心良く協力して下さり、まず携帯

電話の繋がる所で、糸魚川消防署に電話し、新潟県警の救助ヘリを要請した。ヘリが見つけ易い場所に移動し、

H文字の目印、ヘリが近づいたら、目立つように服を振る。約1時間30分位でヘリが到着し、10～15Mの高さより2名が降下し、負傷状況確認後手際良くタンカを出し、救助者を包み後ヘリ下へ運び、約20分程でヘリに積込み糸魚川総合病院へ搬送収容された。

さすが救助のプロだと実感しました。(新潟県内での救助のため、新潟県内の病院収容が原則のこと。また、ザックと靴はヘリで運んだが、スキー板は搬送不可、私が運ぶ)

救助後、約1時間30分で木地屋P到着、荷物を積込み後梅池高原スキー場へ、Nさん、さんは糸魚川総合病

感想:1日目、3日目は山スキーのツアーコースとしては初、中級者としては良いコースと思います。

2日目は上級者向けのコースで体力、スキー技術が不足だと容易に頂上には到達できないと思いました。今回の山行で大変良い経験ができたことは、救助ヘリ要請を常に考えて行動する必要があることです。まず、負傷者がでないことが一番ですが、最悪の状態を考慮した準備、計画をすることだと実感しました。